

Governor's Monthly Letter To Club Presidents and Secretaries

Rotary International District 2550



2006～2007年度
国際ロータリーのテーマ

率先しよう

RI会長 ウィリアム B. ボイド
ガバナー 落合 雅雄



あじさい坂(栃木市)

CONTENTS

- p.1 落合ガバナーメッセージ
- p.5 第2550地区大会参加協力の御礼
- p.6 第2550地区大会報告
- p.8 RI会長代理歓迎晩餐会
- p.9 地区大会記念ゴルフ大会の御礼
- p.10 地区協議会開催報告
- p.11 ロータリー親睦月間にちなんで
- p.12 IM開催報告
- p.13 国際ロータリー2007年規定審議会報告
- p.16 ロータリー財団表彰者・米山記念奨学会表彰者
- p.17 ガバナー補佐任務終了挨拶
- p.27 物故会員／第2550地区新入会員
- p.28 地区主要行事予定／文庫通信
- p.29 2007年3月第2550地区会員増強、出席報告

今月のロータリーレート
1\$=118円

2007.6
No.12

6月：ロータリー親睦活動月間

国際ロータリー第2550地区ガバナー事務所



〒328-0042 栃木県栃木市沼和田町12-15 平和ハイツ2F
TEL 0282-20-2020 FAX 0282-20-2025
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp



年度のおわりに

国際ロータリー第2550地区
2006～2007年度ガバナー

落合 雅雄
(栃木西RC)

DLPとCLP

1992年RI理事会で採択された地区リーダーシッププラン（DLP）は、膨脹を続ける地区に対して、その管理の効率を高める方策として登場しました。つまり最大の能率効果と費用の削減を目的とした地区の管理機構の改編であり、ガバナーの任務の委任を認める（ガバナー補佐）こと、地区内部組織の統廃合による簡素化が求められました。

当地区では、1999年頃より従来の分区代理に代わって、DLPにおけるガバナー補佐を採用しました。これの活用に関しては年々検討が続けられ、村上ガバナーの2004年～05年度には本格的な活動を目指し年度前からトレーニングを重ねて、ガバナー補佐の責務の徹底化を図って所期の成果が得られました。

今年度は、DLPを全面的に採用することにしましたので、ガバナー補佐の担当可能なクラブ数は4～7とされていることから、従来の分区におけるクラブ数を見直し、地区の6分区を10グループとし、グループ内のクラブ数は4～7に収められました。

地区委員会の構成は、ガバナー補佐全員をメンバーとする地区活性委員会が新設され、奉仕プロジェクト委員会は、職業奉仕、社会奉仕、青少年交換を含む国際奉仕の3大奉仕を受け持つことになりました。新世代奉仕は、新世代プロジェクト委員会と改称されました。R財団並びにR米山記念奨学会は、従前通りの委員会が存置されました。

DLPの着想は上述の通りで、ガバナーの負担軽減策として効果が期待されました。しかし、近年特に日米において、会員数の減少に歯止めが効かない状況が見られるようになり、これに対応するクラブリーダーシッププラン（CLP）がクラブ蘇生のベスト・プラクティスに基づき、個々のクラブに応用できる管理と運営によってクラブ活性化を図る方策として提起されました。そこで、CLPの採択を各クラブに奨励しましたところ、26クラブが採用し、残り24クラブは次年度の採用を視野に検討されています。

従来の推奨クラブ細則を固守し続けているうちに、クラブの状況が経年と共に変化を遂げていて、委員会の構成上支障が生じ、引いてはクラブの奉仕活動や管理運営が不十分になった例もあったようです。このような制度疲労が見られるクラブ細則から、クラブの実情に即した細則の見直しを可能にしたCLPは、本来持っているべきクラブの自主性を存分に発揮することで、クラブの活性化が得られる手続きです。ロータリーはクラブが主役なのです。

ガバナー公式訪問

クラブへの公式訪問は、RI役員たる地区ガバナーの重要な責務の一つです。各クラブと公式に接触する年一回の大切な訪問です。私は自身の生業とガバナー役を同時進行させてもらうため、ガバナ



一補佐を通してクラブの意向を伺いながら単独または2～4クラブ合同例会への訪問、夜間例会（3回、5クラブ）への訪問など50クラブを29回で済ませることができました。IMの他にグループで開催される合同例会は、クラブ同志の交流に弾みがつき、将来グループによるガバナー擁立の可能性を醸成できればと思いました。ロータリーは知り合いを広めることです。ロータリアンの持ち時間と私の持ち時間により、村上年度以降実施されていた例会後における炉辺会談は、私も試みて実に多くの貴重なご意見を頂くことができました。かつて付き物だった宴会は、夜間例会に限って催されましたが、体調には影響なくご配慮頂きましたこと御礼申し上げます。

例会前後に実施しましたクラブ会長、幹事、副会長、副幹事、R情報委員長などとの懇談では、クラブ現況報告書の情報はもとより直接の対話によって得られる情報は、そのクラブ像を浮き彫りにしてくれます。クラブの年齢は、宇都宮RCの55才～小山中央RCの10才と3世代に亘る拡がりが見られ、片や伝統の重厚さを、他方明るく若いエネルギー溢れるクラブと夫々個性の主張が明示されるなかで、RIテーマ「率先しよう」を理解し活動の首題として、より良きロータリーを目指す意欲が伝わってきて頼もしく、未来への望みを実感しました。

すでにCLPを採用されていた宇都宮北RCを除いた49クラブにおいては、CLPに関して生じてくる様々な問題点を皆さんと一緒に勉強して参りました。CLPの概念は前述の如くロータリークラブの強化を図ることであり、あらゆる規模のクラブにとって有用な管理機構です。つまりクラブ運営上自由な発想のもとで、クラブの実情に合ったクラブ細則を固定観念から離れて見直すことが可能となり、クラブの自主性がより尊重されたわけです。DLPとの整合性についても屢々討議が重ねられました。（詳しくはRの友2006・10月号重田論文を参照下さい）

今回のDLP・CLPの出現は、RIにおいて会員たるクラブの地位とそれを支援する地区の存在意義をより明確にさせました。

なおクラブ協議会については、前2年度に準じてガバナー補佐に一切お任せしました。

地区大会

年度当初に地区大会開催予定日を4月中旬に決めましたが、4月は4年に一度の統一地方選挙で県議、市長そして市議選があることから、5月連休の次週開催となりました。

3日連続開催については、今の時代にそぐわないという多くの意向を受けて、村上年度に試みられたクラブ会長・幹事会を1月8日に繰り上げ実施、特別講演は尊敬する関場慶博PDG（弘前RC）のお人柄がなせる涙と感動の1時間半でした。

地区ゴルフ大会も繰り上げ、4月27日快晴の都賀CCにて160名参加のもと盛大に実施されました。プレイに際して行ったチャリティーで集まった12万円は、ポリオプラス基金へ贈呈させていただきました。ご協力感謝申し上げます。

3月10日付のメールは、「貴地区大会のRI会長代理はエドウィン・H・フタRI事務総長です。貴地区訪問のフライトスケジュールを計画するため、地区大会プログラムを知らせて下さい。大会後彼はインドに向かいます」とありました。まさに晴天の霹靂、地区でも前代未聞の慶事！？「5月第1週にボイドRI会長の地元の地区大会に出席してからインドに向かうところ、丁度日本のトシオ（板橋元RI理事）の地区で日本最後の大会があるから回り道して本場のラーメンでも食べながら見てみるか」と思われたかどうか定かではありませんが、5月10日到着、予定時刻より1時間早く、長旅なのでさぞ荷物も多いのではと待ち構えていたところ、中型のキャスター付スーツケース1個引っ張

ってジーンズ姿で到着ロビーに現れた時、エイドを率先して引き受けて頂いた板橋敏雄元R I理事が再会を喜んで抱き合ったシーンは、ホンワカとした暖かい友情が伝わってきました。将に「朋あり遠方より来たる亦楽しからずや」。その上エドさんの飾らない柔和な眼差しと易しく語りかける会話は、心の温かさが感じられて私たちの緊張をほぐしてくれました。

到着した日、エドさんを囲んで板橋エイド夫妻に私たち夫妻もお相伴させて頂いた帝国ホテルでの夕食では、日系4世（熊本出身）流石箸は正しく使われ、和食全てOK、コーヒーは好まず専ら緑茶で、純日本的アメリカ人でした。翌11日日光金谷ホテルへ向かう途中、ご期待の佐野ラーメンを佐野PDGの案内で味わっていただきました。

日光では、自然と世界遺産を満喫され、特に東照宮宮司のご子息（在米国4年）の懇切な案内が地区大会講評に引用されることになりました。

12日宇都宮グランドホテルのR I会長代理歓迎晩餐会には、栃木市出身でスパニッシュギタリストのソッコ・マージュ氏の演奏を食前食後に添えて、ライトアップされた庭園をバックステージに宴が催されました。15の地区から今年度のガバナーおよびガバナー夫人が参加下さいました。全国34地区の殿の地区大会だったこと、R I会長代理が事務総長だったので、大勢の来賓をお迎えするようになったようです。

13日1日だけの地区大会なので、可及的効率よく進行するようにホストおよびコホストクラブはより良いチームワークを心がけました。

笠原会長による蔵の街小江戸栃木を代表するシーンと人のパネルで栃木をアピールするステージは、最高の会長代理と共に34地区の棹尾を飾るに相応しい見事な構成でした。

わが国において知名度が下から二番目の栃木へ、北は八戸から南は長崎まで遠来の初めてのお客様が20余名お出でになりましたので、安心安全な送迎を徹底しました。蔵の街、および大平山のエキスカッションと大平山での昼食は、大変好評とりわけ温かい卵焼きが抜群の評価を得たようです。栃木RC会員で大平山神社小林宮司の心からの接遇に対して多くの感謝の声が寄せられています。

32年間、命をどう守るかを考え、16年前チェルノブイリの支援を始めてから命は環境や平和と繋がっているんだって考えて、3年前からイラクの子供の支援も始め、ロータリーに勝るとも劣らない人道的奉仕活動を続けて来られた鎌田實諏訪中央病院名誉院長に記念講演をお願いしました。市民公開とし用意した400枚の整理券以上の聴講希望者があって、券の有無は問わず来られた方は入場してもらいました。大会テーマ「率先しよう」に付け加えた副題「行動に思いやりの心を」を具現化した先生の日常の奉仕から醸し出された柔らかく包まれるような温かい語りかけに、感動された市民の多くから私の所へ感謝の花束が届くやらお礼の電話が引きも切らず、喜んで頂けたことは主催者にとっても無上の喜びでありました。

エド・フタR I会長代理の講評は、東照宮から得た教訓について家康の人生哲学を眠り猫の中に見出し、権力で人のこころを捕らえることはできない、平和を望む人のこころの優しさを大事に守ることで200年も栄えることができました。ロータリーでも、こころを信じ合うことが絆となって結ばれた仲間たちがいて、人としてどう生きるか触れ合いの中から学んでいく場がある、それがクラブであり、例会である。この人生道場がロータリーの存在価値であり、自分の人格が向上すれば自ら尊敬を得るようになって、ロータリーの評価も向上する。高い評価は魅力となって人を引き付ける。組織に魅力があれば人を招き入れることができる。鎌田先生は、命の大切さを信じ守っていくことで、長生きができるといわれた。ロータリーの価値を信じ守ることで、ロータリーを増強できる。家康は決して諦

めなかった。皆さんも決して諦めないで欲しいと熱く語られました。

以上地区大会の一部の印象を記してみました。地区大会に関する報告書は、後日発行します。なお地区年次報告書は、年度終了後発行が予定されています。

今回の地区大会に際し、R I 会長代理のエドとして、エドさんの来日から離日までの5日間一度も帰宅されることなくお付き合い賜りましたR I 元理事板橋敏雄・律子ご夫妻に衷心より深く感謝申し上げます。

また年度当初から平野実行委員長のもと、鋭意大会準備をされてこられた大会実行委員各位に対し衷心より篤く御礼申し上げます。さらにコホストとして十二分にご協力頂きました栃木、壬生ならびに栃木南の各RCに対しありがたく篤く御礼申し上げます。



R I 会長代理(R I 事務総長)エドウィン・H. フタ氏入場

おわりに

栃木西RC創立40周年記念ガバナーとして、2550地区の各ロータリークラブに対して、40年間お世話になったご恩返しをする一年間でした。私は現役の歯科医師なので、ガバナーの仕事との両立をさせるためには、時間の配分が重要課題でしたが、ガバナー補佐のご協力により公式訪問のスケジュールは、クラブと私双方にとって納得できる形が作られました。お陰様で体調も崩すことなく一年を乗り切れそうです。私がサンプルで、無事任務が完了すれば、あいつができたんだから、どなたでもできるはずです。優秀な人材が沢山います。是非スタンバイして下さい。

ガバナーの責務を全うするためには、多くのご支援・ご協力が必要です。幸い私は心をつなぐ大島地区幹事、久嶋会計長という優秀なスタッフに恵まれました。さらに裏方として年度を超えて、終始支えて頂いた事務局の永島敦子、高橋育子両氏のご苦勞に深謝すると共に地区の皆様からも拍手を送って頂きますようお願いいたします。そして2550地区のロータリークラブの皆様へ感謝申し上げ、おわりのご挨拶とします。



地区大会参加協力の御礼

2550地区大会実行委員長

平野 正之

(栃木西RC)

新緑あふれた5月、市制70周年で、新たな気持ちでスタートを切った記念すべき年に、鯉のいる街、蔵の街へ皆様をお迎えすることが出来ました。

皆様ようこそおいで下さいました。そして大会を盛り上げていただき本当に有難う御座いました。

特にRI会長代理のエドウィン・H・フタ様の御臨席を頂きしかもRI本部の事務総長という大変偉い方と伺い感激も一入でした。

フタ様については足利商工会議所会頭であり元RIの理事であられた板橋様に大変お世話になり栃木西ロータリークラブメンバー一同大変感謝申し上げている次第です。

行動するロータリーを目指し皆様の参加を頂き、大会のテーマ(Lead The Way)の下、大会の運営を致しましたが、お蔭様でさしたる事故も無く無事大会をお開きにすることが出来ました。これもご参加くださいました皆様のご協力とご指導の賜物と心より御礼申し上げます。

又、鎌田實先生の講演も皆様に大好評でP、P、Kには心から笑えないものがあり、私も、あやかりたいと思いました。ピン、ピン、コロリ理想ですね。

終わりにりましたが、コ・ホストの栃木クラブ、壬生クラブ、栃木南クラブの皆様のご協力に忠心より感謝申し上げます。

2550地区の皆様のご活躍とご健勝をお祈りいたしまして実行委員長としてのご挨拶といたします。





落合ガバナー挨拶



福田富一栃木県知事祝辞



日向野義幸栃木市長祝辞



RI会長代理エドウィン・H. フタ氏を紹介する板橋敏雄元RI理事



一般会員昼食会場



RI会長代理に記念品を贈る



鎌田實先生の記念講演



RI会長代理総評



特別参加者 紹介



インターアクト



ローターアクト



R財団学友



米山記念奨学生



青少年交換（派遣）



青少年交換（受入）



GSE派遣チーム



GSEチーム

決議委員会



選挙管理委員会 半田久一



資格審査委員会 大竹義夫



登録委員会 佐野正行



決議委員会 村上 肇

RI 会長代理歓迎晩餐会

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2550

〈5月12日(土) 宇都宮グランドホテル〉



晩餐会受付



晩餐会司会



落合雅雄ガバナー挨拶



同時通訳する板橋敏雄元RI理事



RI会長代理エドウィン・H.フタ氏挨拶



ソッコ・マーシュ氏によるギター演奏



手に手つないで



地区大会記念ゴルフ大会

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2550

〈4月27日(金) 都賀カンツリー倶楽部〉



記念ゴルフ大会の御礼

記念ゴルフ大会委員長

出口 澄

(栃木西RC)

去る4月27日に開催させて頂きましたゴルフ大会を早くからご案内をさせていたところ、地区内27クラブより早速のお申し込みをいただき大変有難う御座いました。当日は天候に恵まれ、新緑の中快適にプレーを楽しみ、そして会員相互の親睦が図れたのではないかと考えております。参加された女性会員の4名様、グランドシニアで24名の会員の方々、そして一般としてご参加の135名の会員の方々、163名もの会員の皆様に盛り上げていただき、本当に有難く感謝申し上げます。プレー終了後開催させていただいたパーティーにもバスタガバナーの方々をはじめガバナー補佐の方々にも最後までご参加いただきまして、パーティーがより充実したことに感謝申し上げます。またコ・ホストクラブの栃木ロータリークラブ、栃木南ロータリークラブの会員の皆様にも早朝より、ご協力いただき、そして開催させていただいた都賀カンツリー倶楽部様にも心より感謝申し上げます。最後になりますが、次年度開催にご期待申し上げ御礼のことばとさせていただきます。



落合ガバナー挨拶



一般の部優勝
清本 龍司 (宇都宮北RC)



グランドシニア優勝
山口 明久 (矢板RC)



女子の部優勝
山中美枝子 (栃木西RC)



地区協議会開催報告

地区協議会実行委員長

助 川 通 泰

(宇都宮RC)

平成19年4月30日(月) 緑豊かな作新学院大学清原キャンパスにおいて、RC指導者の為の地区協議会が開催された。

ここ作新学院大学において3月11日地区研修セミナー、続いて3月25日会長エレクト研修セミナー(PETS)と開催され、4月末日とは申せ6月下旬の陽気となり、晴天のもと県内各地より多勢ご参加くださり、落合雅雄ガバナーを始め地区諮問委員の板橋敏雄様、辻由兵衛様、亀和田辰男様、村上肇様、大竹義夫様、佐野正行様には地区研修リーダーとしてご参加ご指導を受け、RI次期会長、ウィルキンソン氏の「Rotary Shares」(ロータリーは分かちあいの心)というテーマを示されましたのでそのテーマにそって、当年度落合雅雄ガバナーのご挨拶を戴き、ガバナーエレクト近藤隆亮よりテーマを重視した地区目標を提示すると同時にご協力を要請された。次に佐野正行研修リーダーの挨拶に続き、

パストガバナー元RI理事板橋敏雄様から「クラブを通じて学ぶリーダーシップ」の演題のもとRI理事会の状況や規定審議会の決議状況等ご報告をお聞かせいただいた。昼食と休憩を終え、各会場移動の後、部門別分科会を行い部門別カウンセラーとリーダー、サブリーダーの指導によって種々の指導や各自クラブの活動目標等の指針を得ていただけたものと思う。



ご多用中指導下さいました各諮問委員の先生方を始め、地区協議会の役員の皆様がこの場をかりまして厚く御礼申し上げます。最後になりましたが、素晴らしい会場をご提供下さいました作新学院大学諸富隆学長始め関係各位のご理解、ご協力に対しまして有難く御礼のご挨拶を申し上げ本大会のご報告といたします。



ロータリー親睦月間にちなんで

クラブ奉仕委員長

田澤 真人

(佐野RC)

ロータリーに入会して、親睦（友愛）を深める方法は、まず例会に出席して例会でロータリーの理想、即ち「人に対する思いやりの心」と「手助けをする心」を学び、それを自分自身に身に付けることで、親睦（友愛）を深めることをロータリーは期待しております。そこで「例会」では、お互いに声を掛け合い、相互補助の暖かい人間関係を持って友情を深め、他の会員を思いやり、お互いに切磋琢磨してゆかなければなりません。

ロータリーにおける親睦（友愛）は、全ての活動の原点であると信じます。まず、会員同士のしっかりした意志疎通が無ければ活動はスタートしません。親睦活動の究極の目的が、ゴルフや旅行や宴会だけでは困りますが、その主旨を良く理解した上で手段であるとするなら、それはそれで有効と考えます。要は、クラブが何時でも一つにまとまり、クラブの運営が積極的に運営できるような下地作りをすることが肝要です。

例えば私の所属する佐野RCの家族委員会では、比較的新しい会員で構成され、古い恒例に捕らわれず今風な感覚、より自由な発想で委員会活動が展開されており、会員やご家族に幅広い支持を得ているように感じております。本年度の家族委員会の主な担当例会をご紹介しますと、

2006.07.03	前会長・幹事、地区出向者慰労会（夜間例会） 会 員
2006.08.28	会員・家族納涼会（夜間例会）ホテル屋上ビアガーデン 会員・夫人・息子又は娘夫婦・お孫さん参加
2006.11.11～12	会員旅行（山形上の山温泉）3ヶ所温泉立ち寄り1泊2日の旅 会 員
2006.12.25	会員・家族クリスマス例会（夜間例会）生バンド演奏とビンゴゲーム 会員・夫人・息子又は娘夫婦・お孫さん参加
2007.01.15	新年会例会（夜間例会）会員経営の料亭で 会 員
2007.03.26	会員・家族花見例会（夜間例会）お琴演奏と室内での桜鑑賞 会員・夫人・息子又は娘夫婦・お孫さん参加
2007.04.15	会員・家族観劇例会（東京キャッツ・シアター）と京会席料理（水月ホテル鷗外荘→ 文豪森鷗外の別邸） 会員・夫人・息子又は娘夫婦・会員関係者

それぞれ、企画の段階より如何にしたら多くの参加者を得られるか、楽しくそして喜んでもらえるか、予算はどうするか、きめ細かに配慮頂きました。その努力が参加された多くの方々から、次回もまた是非参加したいとのご要望を頂く事が出来ました。これは、委員会担当者はもちろん、クラブに取りましても大変嬉しいことでした。当地区内には50のクラブが在ります。したがって50通りの親睦活動があるはずで、それぞれのクラブで、ご自分のクラブに適した方法を模索しそれが会員同士をつなぐかすがいとなり、また潤滑油となって、各クラブが全ての奉仕活動で、素晴らしい成果を挙げられますようご期待したいと思います。



第9グループ I M開催報告

第9グループガバナー補佐

富田 諦 雄

(佐野東RC)

第9グループでは、佐野RC、葛生RC、田沼RC、佐野東RC、岩舟RCの5クラブで総勢130名の参加を頂きホストクラブの例会場であるレストラン大津栄に於いて4月22日(日)PM4時より盛大に挙行されました。従来はIMとして開催されておりましたが、昨年は椎名竹一ガバナー補佐のもとFM(フレンドシップ、ミーティング)



式典

に変わり大変好評を得ましたので、本年度は第6分区が二つに分割され足利地区が第8グループ、当地区が第9グループに変更になったのを機会に、所属する5クラブの会長幹事会に於いて検討協議の結果、今回は「第9グループ合同例会」として新たに企画・開催することになりました。

当日は、第1部が式典と卓話、第2部は懇親会として行われました。

ご来賓は佐野市長岡部正英様と岩舟町長栃木實様をお迎えしてご挨拶を頂戴いたしました。

卓話者にはホストクラブ佐野東RCの会員でも

あり、佐野商工会議所の会頭でもあられます亀田好二先生に、陰陽学から「平成19年度の世情を占う」という題目でご講演をして頂きました。時代の流れや因縁にまつわる大変興味深い有意義な内容のお話でしたので、参加者全員一時間以上に及ぶ時間を熱心に拝聴しておられました。

第2部の懇親会では、アトラクションの歌と演奏を楽しみながら、ときの経つのも忘れて過ごす事が出来ました。

最後に参加者全員で“手に手つないで”を合唱し、大きな輪をつくりクラブ間の会員同士の友情と親睦を深め合いながら散会する事が出来ました。

この様に立派な合同例会を開催する事が出来ましたのも、ご理解を賜りましたグループ内の会長・幹事様をはじめ各クラブの会員の皆様、並びに準備をしていただいたホストクラブの皆様のお陰と、心からお礼を申し上げ、ご報告とさせていただきます。



手に手つないで



規定審議会報告

地区代表議員 P G

半田 久一

(黒磯RC)

2007年規定審議会は、4月22日より27日の日程でロータリー発祥の地、シカゴ市マリOTT・ダウンタウン・ホテルを会場に開催されました。

ホテルのロビーにある登録デスクでチェックインを済ませ、資料を受け取るため、7階にある審議会信任状デスクでガバナー署名入りの信任状を提出しました。隣接するデスクで、歓迎パッケージに含まれている名札を受け取り、会場の座席指定を受け、エスカレーターで5階におり、分厚い立法案のバインダーと関係資料をいただきました。私の座席は、22日(日)～24日(火)は5列41番目です。25日(水)～27日(金)の指定座席は、4列の49番でした。名札を着用して、27階の24号室で荷を解き、カーテン越しの窓に、ビルの谷間から懐かしいミシガン湖の湖面の輝きが入ってきました。

22日の3時30分よりオリエンテーションおよび開会式が7階にある審議会会場にてあり、指定座席に着きました。ウィリアム・ボイドRI会長の挨拶と共に、ジョンF・ジャーム氏を審議会議長に、(米国・テネシー州) ジョン・ボーク氏を副議長に、幹事に(オーストラリア・ニューサウスウェールズ州) モーリン・ニーナマン氏を、議事運営手続きの専門家にルドルフ・ホンドラー氏(ドイツ)をそれぞれ任命されました。

同時通訳レシーバーを日本語に合わせ、リハーサルが行なわれ、提案者は2分30秒、その他は1分30秒と提案理由に対する3枚のカードの使い分け方法と、電子投票の操作には、「賛成」、「反対」、「入力」の3つのキーがあり、議長より「投票して下さい」との指示のもと、10秒間で意思表示を行います。会場正面にある4ヶ所のスクリーンに即座に投票結果が映し出され、議長が採択又は否決を宣言します。幹事が審議番号を呼び上げると共にスクリーンにOC#NOと次のOC#NOが映し出されます。その時、提案者演台にいないと取り下げとみなされるので、提案者は審議順序のOC番号に注意して待機するよう指示されました。



この度の規定審議会は、世界168カ国・530地区より530名の投票権のある代表議員と投票権のない規定審議会関係指導者を含めて約600名ほどの会議です。

私たちの地区はこの審議会に3件の立法案を共同提案しております。第2770地区を提案者として、「出席補填の短縮」と。第2700地区を提案者として、「Eクラブの廃止」と「第2モットー TheyをHe/Sheに」です。それぞれセコンドを私が致します。

23日、部屋から見るミシガン湖からの日の出は素晴らしかった。ミシガン通りに面したホテルを出て、早朝の散歩は、すがすがしかった。ウォーター・タワーを過ぎ、フォーシーズンズホテルから向かい側のジョン・ハンコック・センターを折返し、シカゴ川のミシガンアベニュー橋を渡り、ミレニアム・パークを過ぎ、シカゴ美術館にて、向か



い側に渡りました。ミシガンアベニュー橋の脇にあるディアボーン砦遺跡をひと回りして、魅惑の1マイルの中心にあるホテルに戻る。5階のダイニングルームは、6時半からの利用客で混んでいた。アメリカの朝食はいつも同じメニューであるが工夫して、日本の友人の隣席で、おいしくいただき、会議に備えました。

8時30分、緊張のなか、議長の点鐘で開始される。議長が幹事に指示し、幹事がOC番号を呼び上げ、提案者が2分30秒以内で提案理由を述べると同時に5ヶ所あるマイクスタンドに賛成を示すグリーンカードもしくは反対を示すレッドカードを持って代表議員が並びます。議長は賛否カードを公平に指名し、(それぞれ2~3名づつ)指名された議員は賛否を1分30秒で表明します。終わると議長は提案者に結びの論述を1分30秒で行うよう指示し、終了するとキーパッドによる電子投票が行われ、結果はスクリーン上に映し出されます。最初の審議07-01は、理事会付託になりました。本日の審議は審議順序60番で6時になり終了しました。議長より朝8時から開始の提案があり承認されました。1日目の成果は、採択9、修正採択4、否決35、取り下げ8、取り下げとみなす3、理事会付託1=60件です。日本からの提案は07-11と07-44(米国と共同提案)の2件採択。4件否決、1件取り下げでした。私は、07-20と07-36のセコンドに1番のマイクスタンドに立ちましたが、賛成62、反対438で否決、賛成148、反対340にてそれぞれ否決されました。

3日目の朝、1番目の審議に07-109の「第2モットー」に決まりました。8時開始。第2700地区の広畑PGの提案理由を述べると同時に第1マイクスタンドにグリーンカードを持って立つ。日本語で1分30秒以内で冷静に話す。成果は、賛成268、反対223で採決された。3人づつの賛否の論述は、世界の多様性を考えさせられましたが、一世紀の間使用された標語は、原形に戻すことになり、安堵しました。

27日の午前12時をもって、全ての審議を終了しました。審議順序第336番中採決された制定案59件と決議案38件でした。日本から提案された立法案17件の内6件が採決されました。内訳は制定案4件と決議案2件ですので(別紙)ご参照下さい。

採決された97件は、報告書として審議終了後2ヶ月以内に全世界の各クラブの幹事あてに送付されます。制定案については各クラブの賛否を確認し、その案件に10%の反対がある場合、一時保留となり、郵便投票により決定致します。今日まで10%を超えたことがないので、制定案については、7月1日にその効力を生じます。

この度の規定審議会に代表議員として出席し、世界168カ国、530地区の530人の代表議員と共に、朝8時から夜6時までの6日間、共に過ごしたエネルギーは、世界の多様性を共に理解し、寛容と慈愛の心をもって、国際ロータリーの未来を見つめながら、共に歩み続ける実感を深くした次第であります。

規定審議会では審議された立法案の採否と採択されたものの詳細を「ロータリージャパン」のホームページに掲載されています。www.rotary.or.jp





国際ロータリー2007年 規定審議会報告

別紙

日本提案の立法案 17件 (制定案 10 決議案 7) 採択 (制定案 4件、決議案 2件)

審議番号	案別	提出案件要点	提案地区番号	採否
07-11	制	一般に認められている祝日にクラブ例会を取りやめる権限をクラブ理事会に与える件 (クラブ例会)	2640地区	A
07-20	制	会員の例会の前後14日以内にメイクアップをしなければならないという日数を、7日以内に改正する件 (出席)	2520・2550・ 2570・2770地区	R
07-22	制	30分間参加型のクラブのウェブサイト活動をすれば出席を認められるという規定を削除する件 (出席)	2570・2680・ 2800地区	R
07-25	制	クラブ理事会または奉仕委員会の会合への出席をもって例会出席を認める規定を削除する件 (出席)	2570地区	CW
07-36	決	Eクラブを廃止することを検討するよう、R I 理事会に要請する件 (クラブ運営)	2550・2700地区	R
07-44	制	会長ノミニーと会長エレクトの任期を明確にする件 (クラブ役員)	5500・6460・ 2770・2800地区	A
07-54	決	会員の資格を強調することを検討するよう、R I 理事会に要請する件 (会員)	2680地区	R
07-89	決	ローターアクトの年齢制限を35歳にまで引き上げることを検討するよう、R I 理事会に要請する件 (常設プログラム)	2590地区	R
07-108	決	ロータリーの第二の標語、「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」を、社会奉仕に関する1923年の声明に含めることを検討するよう、R I 理事会に要請する件 (R I テーマと標語)	2680地区	W
07-109	決	R I の第二の標語を改正することを検討するよう、R I 理事会に要請する件 (R I テーマと標語)	2550・2700地区	A
07-163	決	理事会が審議会において地区とクラブの運営に関する事項を話し合うことを規定する立法案を次回の規定審議会に提案することを検討するよう、R I 理事会に要請する件 (地区)	2640地区	R
07-316	決	規定審議会で採択された制定案が忠実に反映されるよう義務づけることを検討するよう、R I 理事会に要請する件 (規定審議会)	2680地区	A
07-323	制	理事の定義を改正する件	2620地区	R
07-331	制	会員身分の終結に関する職業分類の規定を改正する件	2620地区	AA
07-341	制	R I 理事会が決定を直ちに発表すべきであることを規定する件	2680地区	W
07-345	制	R I の目的を改正する件	2650地区	R
07-357	制	採択された決議の審議結果を発表するようR I 理事会に義務付ける件	2650地区	A

凡例ー制・制定案 R I 定款 細則または標準ロータリークラブ定款を改正する意図をもつ立法案

決・決議案 R I 理事会に検討するよう要請する立法案

A採択・AA修正採択・R否決・W取下げ・CW取下げとみなす。

*日本から提案された07-45は、案件要点が同じなので米国5500地区、6460地区に、2770地区2800地区の共同提案としてまとめられ、07-44として採択されました。この度の規定審議会で採択された制定案59件と決議案38件については、別紙にて各クラブ宛送りますのでご検討を加えておいて下さい。



ロータリー財団

(2007.2~2007.4)

〈ポール・ハリス・フェロー〉

真岡 R C 齋藤重一 栃木 R C 白沢正弘 宇都宮陽南 R C 浅川信明・片柳 工 宇都宮陽東 R C 天川主悦
足利東 R C 地斎和雄・増岡迪子 足利東 R C 栗原敏之 黒羽 R C 坂本 瞭・園部賢一

〈マルチプル・ポール・ハリス・フェロー〉

足利東 R C 関谷和夫 (3)、 塚越啓司 (4)、 大貫 輝 (2)、 中谷研一 (6)、 中谷研一 (7)、
栗野西方 R C 小島正男 (2)、 佐藤仲司 (1)、
真岡 R C 大滝弘明 (2)、 大森 茂 (2)、 広瀬紀夫 (1)、
小山南 R C 近藤 稔 (2)、
田沼 R C 内田幹也 (1)、
栃木 R C 芳賀士郎 (2)、 森戸石孝 (2)、 佐山 忍 (1)、
栃木西 R C 笠原全勝 (1)、
宇都宮陽東 R C 阿部健三 (1)、 郡司忠幸 (1)、 野沢正雄 (1)、 高山 實 (1)、
黒羽 R C 三澤晃壹 (1)、 大沼重信 (1)、 佐藤憲一 (1)、 鈴木和雄 (2)、 鈴木新一 (1)、 山口 昇 (2)、
屋代卓郎 (2)、
小山 R C 小林甚一郎 (2)、 田村一夫 (1)、 杉本 實 (1)、
栃木西 R C 落合雅雄 (4)、

〈ベネファクター〉

真岡 R C 飯田恒夫、 真岡西 R C 久万澄勇、 葛生 R C 斉藤誠司、

米山記念奨学会

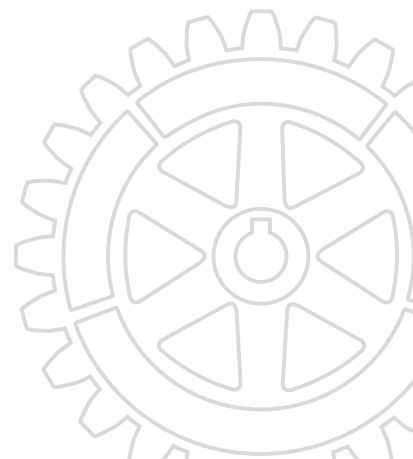
(2007.2~2007.4)

〈米山功労クラブ〉

小山北 R C、 西那須野 R C

〈米山功労者〉 ※2 以上はマルチプル、10 以上はメジャードナー

那 須 R C 赤松 龍 (1)、 斉藤明男 (1)、 佐藤元典 (1)、
宇 都 宮 R C 北村光弘 (3)、
宇都宮東 R C 田嶋光男 (1)、
小山北 R C 石川勝一 (7) (8) (9)、 伊藤巳芳 (10) (11) (12)、
栃木西 R C 植原一男 (4)、
氏 家 R C 大村一夫 (1)、
西那須野 R C 小河原義昭 (1)、 大塩直文 (2)、 鈴木洋利 (1)、
小山中央 R C 阿久津治久 (1)、 坂本裕則 (1)、





ガバナー補佐1年を顧みて

第1グループ・ガバナー補佐

相馬 征志

(黒磯RC)

第1グループ(分区)は、長年グループ内7クラブが輪番制でガバナー補佐を選出する申し合わせがあり、落合年度は黒磯クラブの私が就任致しました。新年度が始まる半年ほど前から数回の補佐研修や諸会議に出席することにより、その役柄の概要と重要性が認識できるようになりました。

7月当初、米国からの夏季交換学生の入りに携わり、西那須野クラブ様にすべてをお引き頂きお世話になりました。8月からは担当7クラブへ補佐訪問を開始、8月29日からは落合ガバナーの公式訪問に随行し10月11日黒磯・那須クラブ合同のガバナー公式訪問で一連のクラブ訪問は終了しました。補佐訪問、ガバナー公式訪問のいずれにも各クラブの温かい歓迎を受け感謝しております。

第1グループは、IMを2007年2月18日に開催することを決め、このためのグループ内会長・幹事会を2006年10月23日に開きました。この席ではIM開催に関する他のロータリ全般について話し合い、又、IM当日の午前にも会長・幹事会を開催し、いずれも有意義な会合であったと思います。

4月29日にはGSEメンバーの受入れがあり、5月4日無事第3グループへ引継ぎました。これは大田原クラブ様に引き受けていただき、研修計画立案から実行まですべてをお願いしたが、ゴールデン・ウィークの最中で職場訪問等の主目的が果たせず、メンバーに有効な滞在をしてもらうためご苦心頂きました。

グループ内7クラブは、規模の大小はあるものの、無理せず着実に身の丈に合ったクラブ運営を心掛けておられるように見受けられます。CLPによる組織の合理化に踏み切ったクラブもいくつかありますが、まだ緒についたばかりで効力が表れるには少し時間がかかるでしょう。又、クラブ活力の源泉である会員組織の維持拡大が思うにまかせず、増強に腐心している様子が覗えます。

この1年を振り返り、私にとって少し気掛かりなことがあります。それは青少年交換プログラム等をカバーする「危機管理委員会」の設置を求められていることです。ことの次第はともかく、「次年度から青少年対象のプログラムが実行出来なくなるかも知れない」との説明にいささか驚きました。私は、ロータリーにとって青少年を対象としたプログラムは、地域の学校等と関わりをもつことの出来る大切な奉仕活動の一つで、若者にロータリーの存在を知ってもらう良い機会であると思っていました。

ロータリー活動に何かしかのリスクが伴うとしたら、それを回避する為の十分な手立ては必要ですが、「美に懲りて膾を吹く」が如きは、ロータリー活動を萎縮させることに成りほしないかと危惧しております。

この1年、私が曲がりなりにも補佐の役目を果たすことが出来たのも、落合ガバナー及びガバナー事務所スタッフの適切な指導と各クラブのご協力によるものであり、これらの方々に心から感謝申し上げます。





ガバナー補佐1年を顧みて

第2グループ・ガバナー補佐

高橋 経雄

(氏家RC)

平成17年11月1日、大竹義夫ガバナー、落合雅雄ガバナーエレクト連名で、第2グループガバナー補佐として委嘱を受け、12月17日にガバナー補佐懇談会・第1回研修会を皮切りに、臨時補佐研修会を含め、最後の第4回目の研修が、18年4月22日に開催。その間、4月16日大竹年度地区大会が足利市民プラザに於いて開催。その後、5月7日には地区協議会（落合年度）。当第2グループにおいても早速、第1回会長・幹事会を6月5日に開催し、烏山・矢板・馬頭・小川・高根沢・氏家RCの2006～2007年度会長、幹事さんにご出席をいただき、7月1日来日の夏期交換学生受け入れ及びガバナー公式訪問についてを協議事項として開催。そんなスケジュールの中で国際ロータリー2550地区落合雅雄ガバナー年度がスタートしました。

まず、夏季交換学生受け入れについて、7月9日第1グループより、相馬ガバナー補佐率いるアメリカの7名の学生を迎え、当第2グループ全クラブでホストし、8日間のスケジュールを終了し、7月16日、篠原ガバナー補佐が待つ第4グループへ引継ぎで完了しましたが、各クラブ、ホストファミリーの受け入れが、非常に前向きで、学生が別れを惜んでいたことを思い出します。又、各グループへの受け入れ、引継ぎの対応がすばらしかったことを今も感じているところです。

次に、落合ガバナー公式訪問についてですが、9月12日に3クラブ（烏山・矢板・馬頭小川RC）と中1日おいて、14日に2クラブ（氏家・高根沢RC）との2日間にわたり合同としての開催。各クラブとも初めての試みでしたが、各クラブ会長・幹事懇談会、合同例会がスムーズに進行し公式訪問が無事終了。幾日も前からクラブ間の密な連携を見、そして各クラブ会員の友の輪がひろがるのを見て、成果の上がったものと感じています。

また、10月7日には、矢板ロータリークラブ40周年記念式典が挙行。40年に及ぶロータリークラブの奉仕活動は、海外にも及ぶとお聞きし、将にロータリー精神を具現化されたものを感じております。阿久津会長、小口実行委員長が中心となって、会員全員が挙って準備を進めてこられたことは、クラブのますますの発展、飛躍することを確信してまいりました。

年明けて、平成19年2月18日、当氏家RCがホストとなってIMを開催。この開催に向け、2001～2002年度に第2分区ガバナー補佐を勤められたホストクラブの野澤分立氏が実行委員長となって、IMテーマ「参画・共鳴・前進」とサブテーマ「教育的プログラム」を実施しました。

当日は、落合ガバナーをはじめ、さくら市長秋元喜平様のご臨席を賜り、そして第2グループ全会員の登録参加をお願いいたしました。落合ガバナー、秋元さくら市長の挨拶と祝辞をいただき、その後、各クラブの奉仕活動状況報告では、各クラブのすばらしい奉仕活動に感動いたしました。又、IMプログラムの1コマをお借りして、氏家RC記念行事として、さくら市長へ「シンボルツリー（シダレザクラ）」の目録を贈呈。（後日、下野新聞にてIMで秋元市長に目録書を手渡した。と報道されました。）閉会后、IMの目的は達成されたかな！と少し心配が残りましたが、実行委員長をはじめ、ホストクラブ会員が、懇親会の席を立とうとしない姿を見、ほっとしたのを覚えております。

最後に、一年交換学生の受け入れについて、受け入れクラブが決まらず難行したことです。3月初めに地区委員会より要請…、直ぐ2つのクラブへ打診…、難しい状況の返答…、その後他の3クラブへ打診…、全て難しい返答…、地区委員会へその状況を連絡、と同時に第2グループ会長・幹事会4月6日開催の通知発送…。当日（4月6日）地区委員出席し、青少年交換プログラムの重要性を説明も進展せず、継続審議とし会を終了…。数日後某クラブへ連絡、検討中との返答…、その後直ぐに某クラブの例会（4月18日）に出席、その席上で、受け入れ決定を会長が発表！この時特にロータリアンの友情を感じた次第であります。ありがとうございました。

以上、雑ばくではありますが、1年を振り返って思いつくままに記述しました。

おわりに、第2グループ会長・幹事さんをはじめ会員皆様、地区役員の皆様、我が氏家クラブの皆様に対し心から感謝を申し上げ最後のご挨拶と致します。



ガバナー補佐1年を顧みて

第3グループ・Aガバナー補佐

伊 東 永 峯

(宇都宮西RC)

落合ガバナーのもと、第3グループAを担当させていただきました。今年は特に地区並びにクラブに大きな変化がありました。それは、地区においてはDLP、クラブにおいてはCLPという組織の編成が行われた年でした。私の担当5クラブでは、7月からCLPを採用しそれぞれのクラブ活動に入りました。私の感じでは、組織は変わったけれど、CLP活用にはその組織をどのように運営していくのかという、方向付けがこれからの課題ではないかと受け止めました。また、第3グループAにおいて公式訪問を合同で行ったクラブはなく、今年度は5回の公式訪問がありました。

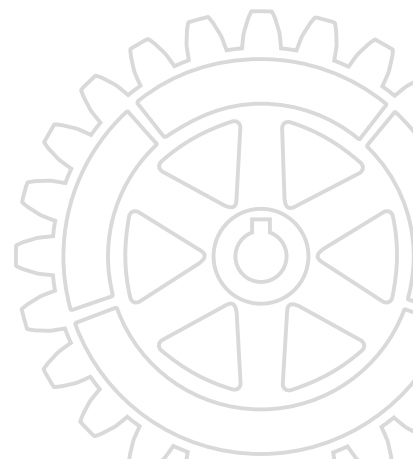
公式訪問前のクラブ協議会は、ガバナー補佐の担当でしたので、1クラブ3回位の訪問が出来ました。計15、6回の訪問をしたこととなります。おかげさまで各クラブの会長・幹事様をはじめ、多くのロータリアンと知り合うことが出来たことは、私にとって大きな宝となりました。

2月に行ったIMも「広げよう親睦の輪を」をテーマに、ホストを引き受けて下さった宇都宮北ロータリークラブのお力添えのもと、盛会に終わることが出来ました。

5月にはアメリカ、インディアナ州から5名のGSEメンバーをお迎えし、ホストファミリーの温かなおもてなし、ホストクラブ会員の奉仕の心一杯の活動で、素晴らしい思い出を残して下さったことに、深く御礼申し上げます。

今年一年間補佐を務めさせていただき、落合ガバナーをサポートできたのかなと自問しております。強く思うことは、やはりロータリーは親睦を通した深いつながりから、信頼が生まれ充実した活動が出来るのだということを、確信し実りある1年でした。

ご協力下された皆様に篤く感謝申し上げます。





ガバナー補佐1年を顧みて

第3グループ・Bガバナー補佐

喜内 敏夫

(宇都宮南RC)

まず、2006～2007年度・第3グループBガバナー補佐の任務を終了することが出来ますことを、多くの皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

落合年度は“ガバナー補佐の任務は指定されたクラブの管理運営について、ガバナーを援助すること”をより明確にして、CLP（クラブリーダーシッププラン）の認識を深め、各クラブの会長・幹事が積極的にクラブの活性化に取り組める様に、今年度から第3グループをAとBに分割されました。

7月からのガバナー公式訪問の前にクラブ協議会に参加しました。第3グループBの4クラブが様々な方法で真剣に、クラブの活性化に取り組んでいる姿を見せていただきました。またガバナー公式訪問では、落合ガバナーが愛情をもって指導をおこなっている姿をじかに拝見する機会を多く持たせたことも、ガバナー補佐をさせていただいた賜物と感謝しています。

第3グループがAとBに分割されたことは大変良かったと思います。伊東ガバナー補佐には大変お世話になりました。今まで9クラブを見てこられたガバナー補佐には頭が下がりますし、ガバナーは2550地区50クラブを指導しているご苦労を痛感いたします。まして以前は茨城県と合同の2550地区のガバナーのご苦労は計り知れません。

2月10日（土）に宇都宮北クラブがホストで第3グループA・BのI、M（都市連合会）が開催されました。実行委員会の原案に対して伊東ガバナー補佐と共に宇都宮9クラブのロータリー情報委員長全員が講師になる様に提案をしました。実行委員会が“率先して”中身のある新人研修会を計画・実践いたしました。また、知的障害のある人々に自立と社会参加を支援する国際的スポーツ団体；スペシャルオリンピックス・日本の名誉会長；細川佳代子様の“可能性への挑戦”の講演がありました。知的障害者がスポーツに関わることを支援することの感動（共に生きる）を伝えていただきました。

5月4日～9日GSE（研究グループ交換）はインディアナ州の5名のメンバーを第3グループの5クラブがホストしました。A・B合同でしたので9クラブ全員の参加を目指して一人500円を支援金としました。6日間のプログラムを担当クラブの幹事さんを中心に計画していただき、A・Bガバナー補佐が共同して行うことが出来ました。

5月13日の地区大会では“命を地域で支える あたかな人の つながりをつくらう”で鎌田實様の記念講演会がありました。ホスピタリティ（おもてなし）の真髄の体験談は感動の連続でした。多くのお話の中で「雪とパイナップル」は涙が止まりませんでした。

1986年（昭和61年）ウクライナ共和国チェルノブィリ原子力発電所四号炉が爆発。核物質が1万メートルの上空まで吹き上げられ、放射能をたっぷり含んだ死の灰が北風に乗って国境を越えてベラルーシという国に降り注いだ。ヒロシマに落とされた原爆の5百発分に当たる放射能といわれている。1990年の夏、何度も助けてほしいとSOSが入った。ベラルーシ共和国で大変なことが起きている。放射能の汚染地帯で病気の子供が多くなりだした。その頃ぼくは目の回るほど忙しかった。支援の要請を何度も断った。見てくれるだけでいい。何度も懇願され、断れなくなった。1991年1月成田空港のロビーでぼくたちは放射能から甲状腺を守るために、ヨード剤を水で薄めて飲んだ。とにかくまずい、あまりのまずさに失神しそうになる。それは、水杯の別れの儀式のようにも見えなくなかった。11名の子供に骨髄移植をしたが、10人は助かり1人アンドレイ君11才は必死の治療にも関わらず15才で亡くなった。その後、鎌田先生がその子のおかあさんはどう思っているのか、ずっと、気になっていて旅をすることにした。

「わたしたちは、日本のお医者さんに感謝しています。ベストを尽くしてくれました。わたしたちには忘れない人がいます。日本から来た移植療法の看護を指導する為に来た、ヤヨイさんという若い看護師さん。骨髄移植後、少年はぎりぎりに生きていた。熱と口内炎のために、まったく食事がとれなくなりました。「ヤヨイさんは『何なら食べられる？』何度も聞かれたアンドレイは『パイナップル・・・』」ベラルーシ共和国は経済が崩壊して、とても貧しい国になっていました。お店に行っても何も無い。ましてや、寒い国、パイナップルなんてできない。ヤヨイさんはマイナス20度の町へ出掛けて行った。次の日も。。。「パイナップルはありますか」結局、パイナップルは見つからなかった。でも、日本の若い女性がパイナップルを探しているらしいと、町の噂になった。パイナップルのかん詰をもって人がいた。パイナップルのかん詰が届き、パイナップルを食べたことで、食事も取れるようになった。。。

初めて地区大会を最後まで参加しました。参加しないとわからない感動があることを知りました。

（追伸）

2006スペシャルオリンピックス冬季世界大会（長野）を知的障害者が“ぼくたちの目で世界を見る”映画（ピリブ）の上映会（3月10日）、親睦ゴルフ大会（5月20日）のチャリティでは宇都宮9クラブの皆様には大変お世話になりました。



ガバナー補佐1年を顧みて

第4グループ・ガバナー補佐

篠原 宣之

(真岡RC)

今年度より新しく編成されました第4グループのガバナー補佐に就任して、間もなく一年が過ぎようとしております。

年度当初にガバナー補佐として、会員皆様をお願いしてきた事は、ガバナー方針への協力は勿論ですが、合わせて各クラブが自主性を大切に、そのクラブの歴史や地域に即した特色あるクラブづくりと、現在のロータリー活動を良く分析し、新しい時代にマッチした効率的な運営を推進し、活性化を図っていただくようお願いしてまいりました。

年度早々の夏期交換学生の受け入れも、それぞれのクラブが持ち味を出し、歓待していただき、今でも学生たちの笑顔を思い出します。

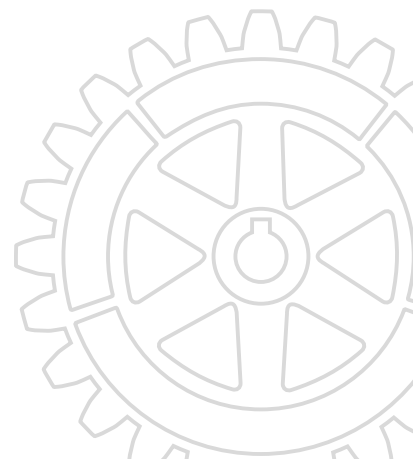
地区内2番目のガバナー公式訪問は、初めての試みとしてグループ合同で実施していただき、年度早々にガバナー方針について直接説明いただき、又、地区内クラブの情報交換ができた事は、新鮮で新しい時代に合った効率的な公式訪問例会であったと思います。

しかし、この合同公式訪問も来年は又、各クラブ毎の訪問に戻るそうですが、ガバナー補佐会議でも好評であり、一つの改革として期待していたのに大変残念であります。

又、IMについてはテーマを「親睦」として開催され、クラブの交流と会員の親睦を十分図る事ができたのではないかと自負しています。

一年交換学生については、受入環境の困難さもあり、一部の会員に多大な負担をかけてしまいましたが、一年交換学生の受け入れについては、今後の課題として一考すべきであると思います。

以上多くの事業を通して、何か新しい風を感じるロータリー活動を念じて一年を過ごしてまいりましたが、果して全員皆様の期待に応えられたか些か疑問ですが、計画通りの事業が終了できました事は、会長、幹事はじめ会員皆様のご協力のお陰と深く感謝しております。





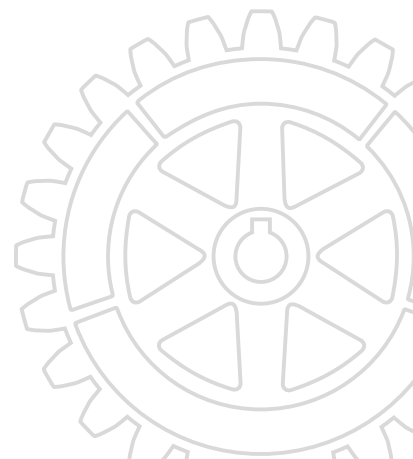
ガバナー補佐1年を顧みて

第5グループ・ガバナー補佐

吉光寺 俊夫

(小山RC)

落合ガバナーの素晴らしいリーダーシップのもとで、ご指導ご協力をいただきながら、夢中で一年間を過ごしてきました。IMでは、ロータリーは楽しくやろうをモットーに、大懇親会を催しましたところ、実質70パーセント・119名の参加をいただきました。又、記念品として第5グループ170名の顔写真入りの会員名簿を、ホストの小山RCのご協力のもとで全会員に配布させていただきました。小山市内170名のロータリアンの交流と友情親睦の一助になれば幸いです。又、米国インディアナからの素晴らしいGSEメンバーとの6日間では、ホストファミリーの皆様には大変お世話になりました。6日間通しておつき合いしてみて、ロータリーの事業の素晴らしさと、国際交流の為、日本の素顔を紹介出来たかなと思いました。ロータリアンの皆様そしてそのご家族、地区事務所の皆様、本当に一年間お世話になりました。素晴らしい経験をさせていただき、ありがとうございました。





ガバナー補佐1年を顧みて

第6グループ・ガバナー補佐

松本幸三

(壬生RC)

ガバナー補佐の1年が間もなく終わろうとしています。

この間、グループの栃木RC、栃木西RC、壬生RC、栃木南RCの会長・幹事の皆様や会員各位には大変お世話になりました。また、落合ガバナーをはじめ地区役員の皆様からは終始ご指導をいただきありがとうございました。

はじめて2グループ化した組織の1年間でしたが、暗中模索の中で、迷惑をおかけしながら今日まで来られましたことは、一重に皆様のおかげであり、貴重な体験をさせていただいたと思っています。

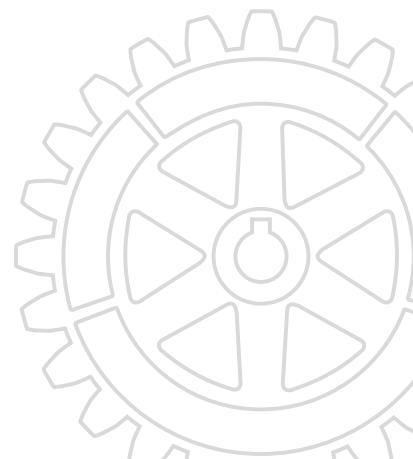
この間の主な行事を辿ってみますと、①夏期交換学生の受け入れ 年度当初でしたが、各クラブのご協力を得て、日本での日程を無事終了し、成田へお送りしました。②IMに代えて4クラブ合同の講演会 当グループは各クラブがお互いに近親関係にあり、交流が密に行われていること、新入会員のオリエンテーションも各クラブが独自に行われている実情から、IMに変えて4クラブ合同でグループとして勉強会の機会を設け、10月に講演会を開催しました。③クラブ協議会に出席 ガバナー公式訪問に備えて10月から11月にかけて各クラブを訪問しました。④地区大会 ガバナー輩出の栃木西RCはもとより、当グループとしても沢山の会員皆様のご参加を得て盛会裡に終ることが出来ました。⑤地域住民にロータリー活動の周知広告 地区大会に合わせて、4クラブの奉仕活動の状況を1クラブB4サイズの紙面を一杯に使った「ロータリーだより」をつくり新聞に折り込みました。地域に限りなく行き渡り、今までよりはロータリーの理解が深まったかと思っています。⑥GSEの受け入れ 地区大会の出席も併せての受け入れでしたので各クラブに大変お世話になりました。

大体以上のような主な経過でしたが、グループ化したことで、グループとしてこれから事業が計画された場合、資金の必要性を強く思い、基金の設立を提案致しました。各クラブを訪問したときに説明申し上げ、ご賛同をいただきました。このことは、ガバナー補佐を中心に、グループの活動推進に役立つことと存じ、初代の補佐としての役目だったかと思っています。

こうして顧みますと、期待に応えられなかったこと、至らなかったこと等々反省しきりですが、すでに準備万端、歩みはじめていられる次期ガバナー補佐に後に託したいと存じます。

新ガバナー補佐を主軸に、第6グループのそして、4クラブの一層のご発展とご活躍をお祈り申し上げます。

あとになりましたが、落合ガバナーのご苦勞に深い敬意を表し、労を稿いたいと存じます。





ガバナー補佐1年を顧みて

第7グループ・ガバナー補佐

石川 昭 男

(鹿沼東RC)

早いもので私の任期も残すところ1ヶ月足らずとなりました。クラブから推薦され不安な気持ちのまま、第2550地区ガバナー落合雅雄氏、PG佐野氏、PG村上氏からガバナー補佐としての研修を受けることになりました。特に今年度は、各クラブの組織運用についてCLPをお願いしたこともあり、研修を重ねるたび仕事の重要さ、難しさを痛感したしだいです。

2006年7月からは、本格的に補佐としての任務を遂行することになりました。鹿沼クラブから始まり日光クラブまで7クラブを訪問しました。その際、落合ガバナーの理念・方針にそって、その情報を各クラブに、また各クラブ会長の要請や現況を的確にガバナーに伝えられたかどうか、常に自分に問いながら精一杯勤めさせて頂きました。

各クラブの訪問は、楽しみでありました。ロータリーの理念は同じでも、各クラブはそれぞれの伝統に培われた格式を形成しています。例会の進行などについても独自性が出ていることに、改めて気づかされました。

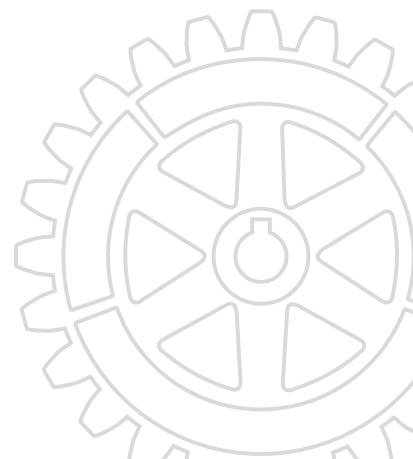
奉仕活動を長く続ける事は、使命感や義務感だけでは出来ません。親睦を通して会員同士の信頼関係が生まれ、その延長上で会長を中心にして地域に必要な奉仕活動を見いだしているからこそでしょう。

会員増強の件はどのクラブでも毎年検討されるテーマですが、思うように出来ないことは事実です。その理由が、今までのロータリーの活動が魅力を感じなく否定されてしまったのか？または社会情勢なのか？問われますが、ロータリーの理念 奉仕に対する考え方を多くの方に理解して頂ければ必ずクリア出来るテーマと思っています。現に増強を達成しているクラブがあるわけですから。

各クラブの活動内容が多様多様なので、ガバナー一人では把握しきれない事を実感しガバナー補佐の重要性を認識しました。今後もガバナー補佐がリエゾンとしてグループ内融和、活性のために活躍して頂きたいと思います。

訪問で色々な場面、状況に遭遇したわけですが、そのたびにもっとロータリーについて深く勉強しておくべきだったと後悔もありました。この1年間の経験をいかしてこれからも積極的に活動していきたいと思います。

ガバナー落合雅雄様初め、各クラブの会長・会員の方々のご協力をえて補佐の仕事が無事勤められたことに感謝申し上げます。





ガバナー補佐1年を顧みて

第8グループ・ガバナー補佐

金井 邦夫

(足利RC)

1年間第8グループガバナー補佐の私に多大なる御協力をいただきまして心より御礼申し上げます。一昨年12月17日の第1回ガバナー補佐研修会を皮切りに今日任期終了を間近に控え約1年半の活動を顧み胸せまる今日この頃であります。実質12月より落合ガバナー年度の始まりスタートの7月までは「研修」や「手続き」「日程調整」に追われて、ガバナー補佐としてどの程度役目を果たせるが少々不安がありました。しかし、各ガバナー補佐との交流を深めるにつれて互いの現況を知りガバナー補佐としての目標を私なりに見付ける事が出来安心と同時に感謝致した次第です。

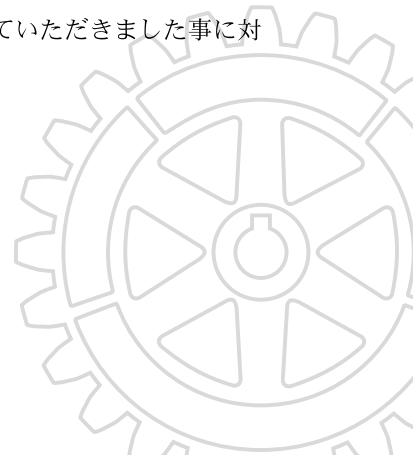
私の担当する第8グループは4クラブですが、皆親子関係のクラブですので比較的まとまり易いグループで協同や協力事業を多く実施されていた為、私の様な者でも容易に御協力が得られたと思っております。2ヶ月に1回の会長・幹事会を開催し各クラブの現況報告とそれに対するのアドバイスを互いに得ておりました。「CLP」に対しても実施しているクラブと検討中のクラブがあり、「会議の中での意見に大いに参考になった様です。扱て事業についてですが、年度前半は各クラブのガバナー公式訪問と個々の事業が集中していた様です。特にガバナー公式訪問につきましては初めての合同公式訪問のスタイルの為、多少戸惑いましたが結果的には大変好評で次年度も是非継続して欲しいとの意見をいただきました。年2回の市民を対象にしたチャリティゴルフコンペ(約200名)を実施。又、野球大会等親睦行事も多く行われました。又、足利東クラブ中心に実施された「WCS」に対しても今年はインターアクトの参加を得て、チャリティゴルフの益金の一部を助成させていただきました。

2月10日に開催された「IM」に対しては「新会員に対するセミナー」は地区幹事の中村福蔵氏を講師に迎え意義のある成果を得る事ができました。一般講演は「笑顔」「会話」「我慢」と題し「群馬おかみの会」の会長塚越裕子氏を招き、楽しさや笑いの中にも人間としての生き方の素晴らしさに感動を受け意義のある講演会、そしてその後出席者全員で大懇親会を開催。大いに親睦を深められたと思っております。

又、足尾の植林事業についても市内4校のインターアクトクラブ参加を得て実施できた事は有意義の一言だけでは表せない「何か」を得たと確信致しました。インターアクト委員の方々には心より御礼申し上げます。

最後の事業になりました「GSE」の受入れに対しても市長始め視察・見学に御協力をいただきました各事業所とホストファミリーとして御世話を下さった5名のメンバー、そして各クラブの担当の方々に心より御礼申し上げます。無事帰国の報をいただき当初不安の中で実施でしたが、無事終了出来た今では達成できた喜びにひたっています。ただ今後出来る事ならば準備期間と予算的な余裕があればと感じた次第です。

いずれにせよガバナー補佐を任命され1年8ヶ月私にとりましては素晴らしい経験をさせていただきました事に対し、心より御礼申し上げ、R-2550地区の益々の発展を祈念いたします。





ガバナー補佐1年を顧みて

第9グループ・ガバナー補佐

富田 諦 雄

(佐野東RC)

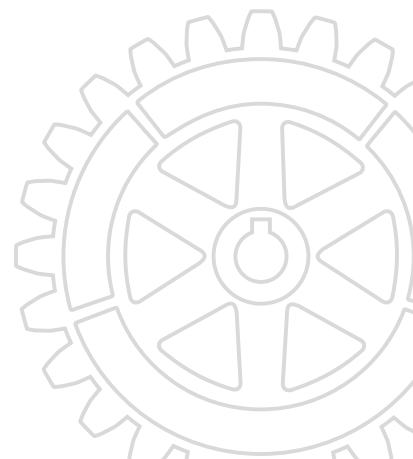
落合ガバナーご指導のもと過ごしてまいりました此の1年も、残り僅かとなりました。振り返ってみますと、長くも有り短くも有ったように思えます。ガバナー補佐としての役職を承った当初は、勉強不足の私にとって、何をどうしてよいのか、戸惑いの連続でした。ただグループ内の各クラブの皆様と、ガバナーとの間のパイプ役を努めて、どんな些細な事でも良く話を聞いて、皆様と一緒に解決策を考えれば良いのだと思ったとき、目の前が開けたような気がいたしました。

グループ内の各クラブ協議会、ガバナー公式訪問等、各クラブを訪問した折、会員の皆様の熱烈な歓迎をお受けし、又会長・幹事とクラブ役員の皆様からクラブ発展の為の前向きなご意見をお聞きし、協議会では会員の皆様と熱心なご討議が行われ、全員が一丸となってクラブ向上の為動いている様子を感じ取った時、補佐としての役目を自覚を緊々と感じ取る事が出来ました。

I Mに変わる第9グループ合同例会の開催に当たりましては、数回に及ぶ会長・幹事会で、和やかな雰囲気の中でも、有意義なご意見をいただき、皆様のご理解とご協力に賜る事が出来ました。お陰様を持ちまして今迄にないユニークな合同例会となり、グループ内の親睦と協調性が養われ、全会員のロータリアンとしての意義を深める事に役立ったと思います。

唯一残念に思う事は、次期ガバナー補佐に決まっておりました岩舟クラブの石川誠二郎先生が突然ご逝去されました。補佐引き継ぎの際、意欲満々で張り切っておられましたあのお姿が、今でも忘れる事が出来ません。心からご冥福をお祈り申し上げます。後を受け継がれた同クラブの川島淳一様には、ご苦勞ではございますがお身体ご自愛の上ご活躍の程お願い申し上げます。

最後にご協力を賜りましたグループ内の皆様にご心から感謝を申し上げ、退任の挨拶といたします。有りがとうございました。



物故会員

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2550

	<h2 style="margin: 0;">物 故 会 員</h2>	謹んで哀悼の意を表し ご冥福をお祈り申し上げます
	ほし の やすし 星 野 泰 (63才) (宇都宮西R.C.) 物故 平成19年4月25日	1991年～1992年 青少年委員長 1992年～1993年 出席委員長 1994年～1995年 米山委員長 1996年～1997年 スマイル委員長 1998年～1999年 幹事 1999年～2000年 クラブ資料委員長 2000年～2001年 米山委員長 2004年～2005年 ロータリー財団委員長 ロータリー財団 1,550\$ P.ベネファクター 1,000\$ ポリオ 83.61 認証ポイント 350.00 米山記念奨学会 300,000円 功労者 第3回

第2550地区 新入会員

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2550

 <p style="text-align: center;"> き むら ゆたか 木 村 豊 (氏家R.C.) ニッカウキスキー(栃木工場) 工場長 </p>	 <p style="text-align: center;"> せ き ま さ き 関 雅 樹 (宇都宮R.C.) (株)壯関 代表取締役 </p>
 <p style="text-align: center;"> が ま い け ひろし 蒲 池 洋 (宇都宮西R.C.) 三井住友海上火災保険(株) 栃木支店長 3年ぶりのロータリーです。よろしくお 願います。 </p>	 <p style="text-align: center;"> おお は た か ず ひろ 大 畑 和 広 (益子R.C.) (有)おおはた 代表取締役 益子R.C.に入会しました。奉仕の精神で 頑張ります。よろしくお願います。 </p>
 <p style="text-align: center;"> ま つ も と と し ひろ 松 本 俊 博 (栃木西R.C.) イトーピア栃木(株) 副支配人 </p>	 <p style="text-align: center;"> ね ぎ し は つ み 根 岸 初 美 (足利東R.C.) (有)根岸畜産 専務取締役 </p>
 <p style="text-align: center;"> し ま だ こう いち 寫 田 好 一 (栗野西方R.C.) 社会福祉法人ユートピアにしかた 事務長 </p>	 <p style="text-align: center;"> ま せ ひ で み つ 間 瀬 英 充 (宇都宮陽東R.C.) 宇都宮ガーデンゴルフクラブ 支配人 </p>
 <p style="text-align: center;"> や ぎ ひ で こ 八 木 英 子 (黒羽R.C.) こころ黒羽 理事長 感謝のこころを持って、少しでも人の役 に立つ生き方をしたいと願っています。 </p>	 <p style="text-align: center;"> も ち づ き ま こ と 望 月 誠 琴 (大田原R.C.) 日本生命大田原営業部 営業部長 </p>

地区主要行事予定

2007年

 地区外行事

月	日	曜日	行 事	場 所	
6	9日	土	国際親善奨学生選考試験	宇都宮	ホテルニューイタヤ
	17-20日	日-水	国際大会	米 国	ソルトレークシティ
7	14日	土	諮問委員会	宇都宮	東武ホテルグランデ
	29日	日	新世代プロジェクト委員長研修セミナー	宇都宮	東武ホテルグランデ
8	5日	日	クラブ奉仕委員長研修会	宇都宮	宇都宮グランドホテル
	18日	土	R財団委員長研修セミナー	宇都宮	ホテルニューイタヤ
	26日	日	米山記念奨学会委員長研修セミナー	宇都宮	ホテルニューイタヤ
9	9日	日	奉仕プロジェクト委員長研修セミナー	宇都宮	宇都宮グランドホテル


文庫通信 (236号)

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2550

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

「記念講演から」

- ◎ 「人間はどこ迄生きられるかー寿命のはなし」
宮下正弘 2006 3p (「D.2540インターアクト年次大会指導者講習会報告書」)

- ◎ 「近未来における大学像」
八田英二 2006 12p (D.2650地区大会)

- ◎ 「みんな地球に生きる人ー日本の国際化と子供の未来」
アグネス・チャン 2006 16p (D.2520地区大会)

- ◎ 「ロータリーからの贈り物」
関場慶博 2006 9p (D.2520地区大会)

- ◎ 「21世紀の日本 世界に託す夢」
塩川正十郎 2007 4p (D.2790地区大会)

- ◎ 「景観から見た日本の心」
涌井雅之 2007 10p (D.2800地区大会)

- ◎ 「公益の源流を歩くーロータリーと公益を考える」
小松隆二 2007 5p (D.2800地区大会)

- ◎ 「『古池や』は本当か」
金子兜太 2006 4p (D.2720地区大会)

[上記申込先：ロータリー文庫(コピー/PDF)]


ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F

TEL (03)3433-6456 FAX (03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日

国際ロータリー第2550地区4月会員増強・出席報告

区分	クラブ名	出席率			会 員 数							
		例会数	今月	平均	7月1日	今月	入会	退会	通算増	通算減	増減	内女性会員
第一グループ	大田原	4	85.50	89.84	47	49	0	0	4	2	2	1
	黒磯	4	94.00	98.03	44	46	0	0	4	2	2	2
	西那須野	4	98.15	97.28	49	54	0	0	5	0	5	0
	黒羽	4	96.25	94.78	22	20	0	0	0	2	-2	0
	那須	4	87.00	85.77	24	25	1	0	4	3	1	2
	塩原	4	77.30	76.06	13	11	0	0	0	2	-2	0
	大田原中央	4	71.25	76.44	21	20	0	0	0	1	-1	0
第二グループ	烏山	3	87.03	91.74	17	18	0	0	1	0	1	1
	氏家	4	76.45	84.03	36	35	0	0	1	2	-1	0
	矢板	4	87.50	85.62	38	36	0	0	0	2	-2	6
	馬頭小川	4	96.60	93.15	23	22	0	1	0	1	-1	0
	高根沢	4	85.30	83.97	17	17	0	0	0	0	0	1
第三グループA	宇都宮	4	73.50	73.05	101	98	1	1	11	14	-3	0
	宇都宮西	4	92.00	91.58	60	62	0	2	6	4	2	0
	宇都宮北	4	85.71	78.80	57	57	0	0	0	0	0	0
	宇都宮90	4	91.80	89.81	44	42	0	1	2	4	-2	5
	宇都宮陽北	4	75.00	79.99	35	36	0	0	3	2	1	6
第三グループB	宇都宮東	4	93.50	92.86	104	104	1	0	4	4	0	0
	宇都宮南	4	71.60	79.30	49	50	0	0	2	1	1	0
	宇都宮陽東	4	88.00	84.90	41	44	1	1	4	1	3	1
	宇都宮陽南	3	80.70	89.42	19	20	0	0	1	0	1	4
第四グループ	真岡	4	76.03	82.57	40	43	1	0	7	4	3	0
	益子	4	80.40	90.23	44	41	0	0	0	3	-3	0
	真岡西	4	93.61	92.56	45	45	0	0	1	1	0	8
	しもつけ	4	87.49	87.97	29	30	0	0	1	0	1	8
第五グループ	小山	4	92.00	89.77	47	49	0	1	3	1	2	0
	小山南	4	91.67	94.30	20	22	0	0	3	1	2	2
	小山東	4	88.69	90.57	42	42	0	0	0	0	0	0
	小山北	4	79.03	82.55	29	32	0	0	3	0	3	0
	小山中央	4	73.00	74.60	27	27	0	0	0	0	0	1
第六グループ	栃木	4	85.90	78.46	55	55	0	0	1	1	0	0
	栃木西	4	95.34	87.67	43	45	0	0	2	0	2	2
	壬生	4	92.00	92.00	19	19	0	0	2	2	0	2
	栃木南	4	88.20	87.55	36	33	0	0	0	3	-3	4
第七グループ	日光	4	70.24	73.27	31	30	0	0	0	1	-1	3
	鹿沼	4	88.86	89.23	70	73	0	0	4	1	3	1
	今市	4	91.48	90.93	46	44	0	1	0	2	-2	0
	鹿沼東	4	94.08	91.43	47	47	1	0	2	2	0	2
	粟野西方	4	95.57	96.13	17	16	0	0	1	2	-1	1
	鹿沼中央	4	89.66	88.25	31	31	1	0	1	1	0	1
	今市きぬ	4	95.00	92.83	30	30	0	0	0	0	0	1
第八グループ	足利	3	89.36	84.80	49	47	0	0	3	5	-2	0
	足利東	4	86.40	77.92	61	63	0	0	2	0	2	7
	足利西	4	76.65	77.00	15	15	0	0	0	0	0	0
	足利わたらせ	4	91.97	92.94	26	29	0	0	3	0	3	0
第九グループ	佐野	1	86.00	87.36	59	58	0	1	3	4	-1	0
	葛生	4	92.30	89.86	36	36	0	0	1	1	0	0
	田沼	2	92.25	93.04	40	43	0	0	4	1	3	0
	佐野東	4	80.17	83.91	23	24	0	0	2	1	1	0
	岩舟	4	89.75	81.93	30	27	0	0	0	3	-3	1
50RC			86.54	86.76	1948	1962	7	9	101	87	14	73

お礼のご挨拶

ガバナー月信ご購入1年間ありがとうございました。

ご寄稿につきましては、落合雅雄ガバナー始め、ガバナー補佐、地区役員、各クラブのロータリアンの皆様には暖かいご指導とご協力を仰ぎながら何とか12号をお届けすることが出来ました。お世話になった関係者の皆様に心から感謝と、第2550地区の益々の発展と会員各位のご健勝をご祈念を申し上げ、任務終了のご挨拶とさせていただきます。

ガバナー月信編集委員会一同